



**北前船主中村家での茶席散策
結構なお点前で**

福井茶の湯同好会は、恒例の「茶席散策」を、6月22日に河野地区の北前船主中村家住宅で開きました。かつて右近家とともに日本海五大船主に挙げられた中村家邸宅は、近代黎明期における地域文化を反映した家屋敷であり、その歴史香る和室に煎茶席と抹茶席の2席が設けられました。茶席には各流派の会員や招待客約200人が参加。亭主の優雅なお点前を楽しみながら穏やかなひとときを過ごしました。茶席には、福井県知事や川野町長、丸岡議長らも招かれ、お茶を堪能しました。



**田倉川ホタル観賞会
ホタルの飛び交う里づくり**

6月29日、田倉川ホタル観賞会が開かれ、今庄小学校4年生の児童と保護者、地元関係者ら約100人が参加しました。この観賞会は、自然環境とのふれあいと地域おこしの機運を高めることを目的に開催されました。

最初に、今庄小学校体育館で福井県ホタルの会顧問の草桶秀夫さんより、ホタルの住む環境やホタルの再生活動などについての講演が行われ、午後8時頃に長沢区のホタル観賞地へ移動。暗闇の中で発光しながら飛び交うホタルの様子を観賞しました。参加者らは「これからはホタルが住める環境を残していきたい」と話していました。



**南条地区文化協議会発表会
悠久の伝統を披露**

6月30日、第35回南条地区文化協議会発表会が南条文化会館で開催されました。

南条地区文化協議会の会員らによる日頃の練習成果のお披露目に加え、今庄地区、河野地区からも参加。ロビーなどの展示会場には墨彩画や陶芸、写真、書道のほか詩や短歌、能面、コサージュなど自慢の作品が展示され、訪れた人の目を惹きつけました。

午後からは、ホールにおいて舞台発表会が行われ、大正琴や民謡、吟舞、尺八、津軽三味線、日本舞踊などが披露され、観客は発表者の堂々とした振る舞いと優雅な演技に魅了されていました。



社会を明るくする運動

法務大臣メッセージ伝達

法務省主唱の「社会を明るくする運動」は今年で63回を迎えました。更生保護の日である7月1日、越前地区保護司会の会員17人が役場を訪問し、法務大臣メッセージ伝達が行われました。北畑豊秀会長から「社会復帰に様々な困難を抱える者が再びあやまちを繰り返さないよう地域の中に適切な住居と就労などの生活基盤を確保することが重要です」という法務大臣のメッセージを読み上げ、川野町長と丸岡議長に手渡しました。川野町長らは「安全で安心して暮らせる町づくり、犯罪や非行のない明るい社会の実現を目指していきます」と宣誓しました。



**町福祉団体連合スポーツ大会
スポーツを通じて親睦深め**

7月7日、南条小学校体育館で、老人クラブ連合会や身体障害者連合会、母子寡婦福祉会など7福祉団体の会員が一堂に集まり、スポーツ大会が開かれました。

開会式の後、全員で準備体操をして競技開始。輪投げや紅白玉入れ、ボール送りリレーなどさまざまな種目が行われ、選手らはわきあいあいと楽しんでいました。競技中は、テクニクのあるプレーや息の合った動作が見られ、応援席からは歓声や拍手が送られました。

大会運営には民生委員・児童委員があたり、競技の一つひとつをしつかりサポート。大会は盛大のうちに終了しました。



**海水浴場が海開き
待ちに待ったサマージーズン**

7月4日、河野地区の3カ所の海水浴場が一斉に海開きしました。甲楽城海水浴場ではシーズン中の安全を祈願し神事が営まれ、河野観光協会の清水会長が「河野の海は水が綺麗なことが自慢。涼を求め多くの人にお越しいただきたい」とあいさつし、例年約1万人が訪れる自慢の海の繁盛を祈りました。神事後、河野保育園の5歳児11人が「大人のひと海にいけます」「危険なことはいけません」などと元気な声で「海の約束」を宣誓。出席者全員で色とりどりの風船を空高く飛ばし、その後、園児たちは裸足になり、光輝く海へ一番乗りしました。



**ウオーターランド夏祭り
夏の暑さを吹き飛ばせ**

本格的な夏を迎えた7月14日、ウオーターランド南条で、恒例の夏祭りが催され、多くの家族連れで賑わいました。屋外には、お好み焼きやフランクフルトなどの模擬店が出店。開店と同時に大勢の人が並び、祭りのオーブンを盛り上げました。

屋内では、キッズダンスやストリートダンス、フラダンス、ズンバといった華麗なダンス発表が行われ、キレのある動きとスピード感あふれるパフォーマンスに、観客からは大きな拍手が送られました。フィナーレにはお楽しみ大抽選会も行われ、訪れた人たちは夏の夜を楽しく過ごしました。



**天日干し だしじゃこづくり
河野の食文化を学び、そして発信**

7月8日、河野小学校の3年生と4年生がふるさと学習の一環として、「だしじゃこ」を作りました。作り方を教えてくれたのは、「じゃこボラ」として募集した地元のお母さん達。児童らは、早朝に河野漁港で水揚げされた新鮮なじゃこを絶妙な塩加減で茹で上げ、専用網に丁寧になべて天日干し。カリカリに干しあげた後、袋詰めをし、11日に南条農産物直売所「四季菜」で販売体験をしました。揃いの法被姿をした児童らは「おいしいですよ」「一生懸命作りました」と元気な声で接客し、あっという間に完売しました。

